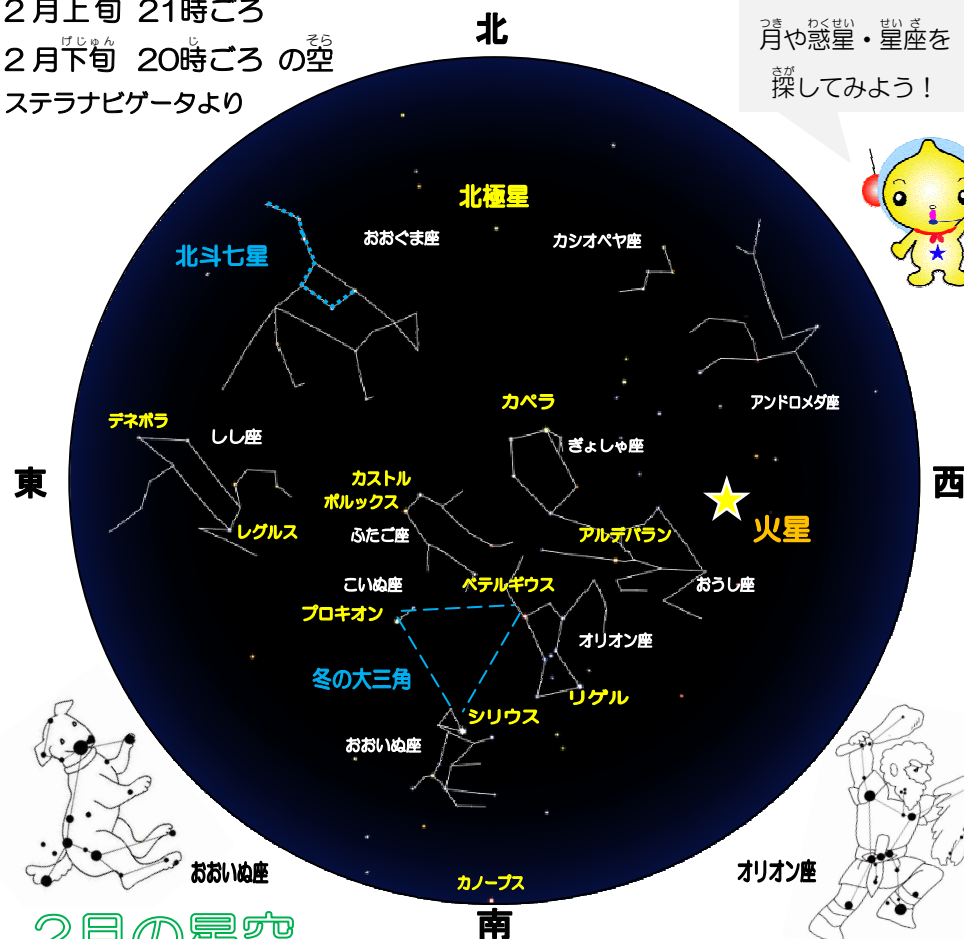


月刊 星空の散歩道 2月号

2021年

2月上旬 21時ごろ
2月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータより

月や惑星・星座を
探してみよう！



2月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

南の空と天頂に冬の星座、東の空に春の星座が見える。

- < 西 > アンドロメダ座、おうし座（アルデバラン）
- < 天頂 > ぎょしゃ座（カペラ）、ふたご座（カストル、ポルクス）
- < 南 > オリオン座（ベテルギウス、リゲル）、おおひぬ座（シリウス）
- こいぬ座（プロキオン）
- < 東 > しし座（レグルス、デネボラ）
- < 北 > 北極星、カシオペア座、おおぐま座

☆天文トピック☆

2月 3日 立春

暦の上では春が始まる日とされています。前日の節分では、春を迎えるため、豆をまいて邪気を払い、近年は2月4日が立春でしたが、今年は124年ぶりに2月3日となります。

2月 12日 旧正月

昔の暦は、月の満ち欠けで決められていました。新月から次の新月を1ヶ月としていたため、昔の旧正月（1月1日）は必ず新月でした。

2月 19日 月と火星がならぶ

月の右側に輝く赤っぽい星は火星です。夜中には月とともに沈んでいきます。

☆月の形の変化☆

2月 5日 下弦
2月 12日 新月
2月 20日 上弦
2月 27日 満月

☆2月の惑星☆

水星…明け方、東の空低く（下旬）
火星…宵、西の空

<天文コラム> 星が生まれる「オリオン大星雲」

冬の夜空で目立つ星座というと「オリオン座」でしょうか。よく晴れた日であれば、「オリオン大星雲」が見えるかもしれません。

街中で星を探すには、少しコツや慣れが必要です。家の近くから挑戦するときには、部屋の電気を消したり、街灯などが建物で隠れるように立ってみましょう。探しやすいです。オリオン座の中心には、特徴的な3つの星の並びがあり、三ツ星と呼ばれます。その下（南側）のあたりに、暗めの星が縦に連なってぼんやりとしているところ（小三ツ星）があります。この真ん中が「オリオン大星雲」で、双眼鏡で見るとうすらとした小さな雲や光のシミのように見えます。

オリオン大星雲は、ガスやチリなどが集まってできていて、これらは星を作る材料となります。望遠鏡などで見ると、中央に小さな星が集まっています。

「トラペジウム」と呼ばれるこの星たちは、ここから生まれたばかりの星です。オリオン大星雲は、今まさに星が誕生している瞬間を見ることができる天体

なのです。（StellaNavigator/AstroArtsより）

